

令和5年度 地理歴史科 「地理探究」 シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	普通科 2年A～G組 選択者
教科書	地理探究（二宮書店）、詳細現代地図（二宮書店）	副教材等	新編フォトグラフィア地理図説（東京法令出版）

1 学習の到達目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

2 学習の計画

月	単 元 名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料
4	第Ⅰ編 現代世界の系統地理的考察	第1章 自然環境	1 地形	・自然環境が構成する各地域の特色を理解する。
			2 気候と生態系	・自然環境が人間生活に果たす役割を考察できる。
5			3 世界各地の自然と生活	・地形図を用いて様々な環境を理解する。
			4 日本の自然環境と防災	
			5 地球環境問題	
6		第2章 資源と産業	1 農林水産業	・世界の農業地域の区分と農業形態の基礎的事項を理解する。
			2 資源・エネルギー	・エネルギー生産とその消費を生活と関連づけて考察できる。
			3 工業	・世界の工業についての基礎的事項を理解する。
7			4 第3次産業	・第3次産業と人間の消費や生活と関連づけて考察できる。
9		第3章 人・モノ・金のつながり	1 交通・通信	・交通・通信に関わる問題の現状並びに貿易・観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。
			2 貿易・観光	

月	単 元 名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料
10	第Ⅰ編 現代世界の系統地理的考察	第4章 人口・村落・都市	1 人口 2 村落・都市	・都市・村落の機能や結びつきなどの地域的特色を生活と関連づけて考察できる。
		第5章 文化と国家	1 生活文化と言語・宗教 2 国家とその領域	・世界の生活・文化・宗教を概観し、その多様性を理解する。 ・国家とその領域を概観し、領土問題の現状や要因、解決に向けた取組などを理解する。
11	第Ⅱ編 現代世界と地誌的考察	第1章 地域区分	1 中国	・各地域の基礎的事項を理解する。
12		第2章 現代世界の諸地域	2 朝鮮半島 3 東南アジア 4 南アジア 5 西アジア・中央アジア 6 北アフリカ・サブサハラアフリカ 7 ヨーロッパ 8 ロシア 9 アングロアメリカ 10 ラテンアメリカ 11 オーストラリア 12 ニュージーランドと島嶼国	・各地域の特色や課題を総合的に考察できる。 ・地誌的調査方法を身につけるとともに地域を比較し考察できる。
1				
2				
3	第Ⅲ編 現代世界におけるこれからの日本の国土像		1 現代日本に求められる国土像	・各地域について、統計資料・写真資料を活用できる。今までの学習を基にして、自然災害に強い国土、変化する産業と持続可能な成長、人口減少社会の活性化、多文化共生社会の実現に関して、将来の日本の国土像について、日本がかかえる地理的な課題を多面的・多角的に考察できる。

3 評価の観点

知識・技能	知識：地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解する。 技能：地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

4 評価の方法

定期考査の成績、提出物の提出状況や内容を評価、課題への取り組みや内容を評価、また、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の3観点からの評価規準も含めて、総合評価していく。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

地理の授業は自分の視野を広げることを目的とし、様々な事柄に興味をもち、新聞やニュースなどに積極的に親しみましょう。また、各項目での考え方・仕組みをしっかりと理解しましょう。地名等は必ず地図帳でチェックしましょう。
--